

農家民宿 重松の家

(じゅうまつのいえ)

四季折々の 自然の恵みに満ちた 里の暮らしを

一緒に暮らしていた両親が相次いで亡くなり、4人の子どもたちも一人ひとり巣立って行ったとき、「専業農家である生活を大切にしながら、何かできることはないか」と、佐藤重博さんと祐子さんご夫妻は考えたそうです。そんなとき、農業新聞やテレビで「農家民宿」を知り、農作業を体験してもらいながら、人を泊めたり、里のものを食べさせたりできたらこちらも楽しいと思ひ立ち、平成21年6月、「重松の家」をオープンしました。「重松」というのは、この家を残してくれたおじいさんの屋号です。家のまわりには、収穫時期の違う栗の木が植えられていて、おかげで秋になると次々に栗が実ります。一つひとつ皮をむいて、甘煮にして保存しています。「かまど」もおじいさんが残してくれたもの。「かまど」でゆっくり炊いたご飯は、なんともいえずおいしい。「おじいさんもきっと、農家民宿をしていることを喜んでくれていると思う」と、祐子さん。餅つきをしたり、味噌作りをしたり、農家で昔からしてきたことが、今の人たちにはめずらしいことのように、とても喜ばれるそうです。どこか懐かしさを感じる里の暮らしを体験したい方は、どうぞおいでください。



佐藤さんご夫婦

川でカニやドジョウを獲って里の食卓を支えるご主人の佐藤重博さんと、山菜や木の実など、季節の恵みを保存食にして、人を迎える準備をする祐子さん。



ある日の朝食

ゼンマイの白和え、父さんが獲ったドジョウの佃煮、カニのおつゆ(味噌汁)、漬物(沢庵、高菜)、放し飼いの鶏の卵、ぼたっこ(塩鮭)、ワラビのお浸し、サシドリ(山菜)とタコの辛子味噌和え、あきたこまち(ご飯)



外観①

おじいさんが残してくれた「重松の家」。里の暮らしを体験したい方をお待ちしています。



外観②

秋田駅から車で20分ほどの秋田市郊外にあります。知的障害者施設「小又の里」のお向かいにあり、「小又の里」の利用者との交流もできます。



「かまど」と祐子さん

「かまど」が活かせて、おじいさんもきっと喜んでいて感じる祐子さん。人をお迎えすることが楽しい。



学習激励会

近くの上新城中学校3年生を迎えて「受検激励会」。いい思い出になればと、開催しています。ワイワイいながら、だまこ餅をつくって食べました。

孫のようにかわいい保育園児と餅つき体験。雪の中で遊びながら、にぎやかに。



餅つき体験

家の外にある「かまど」。人がたくさんいるときには「かまど」でご飯を炊きます。おいしいですよ。



栗の甘煮

ふんわりやわらかい干し柿とほっこりとした栗の甘煮。おじいさんからの贈り物です。



かまど

農家民宿 重松の家(じゅうまつのいえ)



[体験メニュー] ※季節によって変わります。田植え、稲刈り、野菜畑づくり、収穫、山菜採り、トンボやバッタ捕り、川遊び、餅つき、味噌づくりなど

[料金(予約制)]
1泊2食付/6,000円 1泊朝食付/5,000円

[定員] 7名以内(1日1組のみ)

■住所/秋田市新成小又字田中13
■TEL&FAX/018-870-2345